平成 2 5 年

第 4 回羽咋市議会定例会

提案理由説明書

平成 2 5 年 9 月 5 日招集

本日、ここに、平成25年第4回羽咋市議会定例会が開かれるにあたり、提出議案の大要と当面する諸課題への取り組みについて、ご説明申し上げます。

はじめに、羽咋市防災総合訓練の実施について申し上げます。

平成25年度の「羽咋市防災総合訓練」は10月5日、邑知小学校グラウンドで実施いたします。

この訓練は、大規模な地震発生と、それに伴う火災や事故などの2次災害を想定し、多くの防災関係機関や地域住民の皆様に参加をしていただき、災害時の様々な応急対応訓練を総合的に行うものであります。

今回は、地震発生直後の個々の安全行動や、地域で助け合う避難訓練を行うほか、防災行政無線とエリアメールなどを使った情報伝達訓練や、関係機関と連携した応急対応訓練などを行ってまいります。

また、原子力発電所事故を想定した避難訓練では、広域避難計画で位置づけられている「金沢市の指定避難所」まで、今回は富山県を經由するルートで、住民の方々に避難していただき、スクリーニングや除染訓練などを実施いたします。

訓練を通じて、市民、地域、防災関係機関および行政がそれぞれの役割を確認し、連携を深めるとともに、防災意識の高揚や防災知識の向上に努め、地域防災力の強化に取り組んでまいります。

次に、防災行政無線の整備についてであります。

富永、邑知および余喜地区などで、今年度末までに、^{おくがい}屋外
^{かくせいこきよく}拡声子局 25 基を新設するとともに、市の関係課や消防署および
消防団に移動系端末装置 15 基の配備を進めているところであり
ます。

なお、海岸部に設置されている既設のアナログ式防災行政無線
17 局につきましては、今後、早期のデジタル化に努めてまいり
ます。

次に、梅雨前線豪雨による被害状況と対応についてであります。

全国各地に被害をもたらした梅雨前線豪雨は、本市におきまし
ても、6月18日から19日にかけての雨量が、24時間で最大
145ミリに達し、農地や河川などに大きな被害をおよぼしまし
た。

農林関係では、農業施設や林道など11件の被害があり、被害
総額は、およそ600万円と見込んでおります。うち、農業施設
1件につきましては、先日、国の災害査定で補助事業の承認を受
けたところであります。

また、河川災害は2件発生し、被害総額は、およそ600万円
の見込みであります。これらも国の補助事業の承認を受けたと
ころであります。

今後、早急に工事発注を行い、年度内の復旧を図りたいと考
えております。

また、8月23日の大雨による被害については、山腹や水田のりめん法面の崩壊をはじめ、土砂災害や道路、河川の破損などの被害が市内で54か所発生しました。

このような状況の中、本市では、市役所内に災害対策本部を設置し、防災関係機関や各町会などにご協力をいただき、被害の拡大防止や応急対策に全力で対応したところであります。

このうち、午後1時30分頃に発生した、飯山町の民家うし後ろの斜面の土砂崩れにつきましては、同地区が土砂災害特別警戒区域に指定されていたことなどを考慮し、午後3時に8世帯23人を対象に、避難勧告などを発令いたしました。

当日は、大雨洪水警報および土砂災害警戒情報が継続中であり、予報でも、ところにより短時間で激しい降雨が予測されており、家屋倒壊などから人身被害を回避すべきとの判断をいたしましたものであります。

今後は、被災箇所の速やかな復旧対策に取り組むとともに、迅速かつ的確な災害対応が行えるよう、防災力の充実強化を図り、市民の皆様が安心して暮らせる、災害に強いまちづくりを推進してまいりたいと考えております。

次に、地域循環バス「るんるんバス」についてであります。

「るんるんバス」につきましては、今年の4月1日から、従来の5コースを2コースに改定し、運行してまいりましたが、利用者の方々から「運行時間が長い」、「座席数が少ない」など見直しを求める要望が出されていきました。

市といたしましても、そうした声を真摯に受け止め、改善策を検討したところ、現在のバス2台を3台体制に改めるとともに、コースも従来の5コースに戻し、毎日2往復運行することといたしました。今年12月1日からの実施を予定しており、従来以上に利用者の利便性を高めてまいりたいと考えております。

次に、羽咋中学校整備の進捗状況についてであります。

羽咋中学校校舎棟改築工事につきましては、校舎棟の構造体であるコンクリート打ち工事がほぼ完了し、8月末現在で出来高率が64パーセントと、順調に進捗しております。今後は、仕上げ工事などに着手し、今年12月の完成を目指し、順次工事を進めてまいります。

次に、窓口業務の一部民間委託についてであります。

総合窓口課の証明書発行をはじめ、子ども医療費助成申請関連業務や税務課窓口での各種証明書の申請受付など、民間事業者に委託する業務内容をこのほど決定し、公募型プロポーザル方式により選考することといたしました。

広報 8 月号や新聞、市公式ホームページなどで公表し、公募を行いましたところ、8 月 30 日までに数者から参加申込みがありました。企画提案書の第 1 次審査を経て、10 月下旬には第 2 次審査を行い、11 月上旬に契約いたしたいと考えております。

契約期間は平成 26 年 2 月から 28 年 11 月までの 2 年 10 か月間ですが、窓口業務の専門性の確保や個人情報保護の厳守など、意欲、資質および技術能力に優れた事業者を選定し、市民サービスの向上を図りながら、行政改革を進めてまいります。

次に、ふるさと寄付金の現況について、ご報告いたします。

地域商店などとのタイアップによる特産品や優待サービスの提供を加えた「ふるさと寄付金制度」を平成 24 年 7 月から開始し、市民や市出身者への PR に努めてきたところ、昨年度は、138 件 337 万円、今年度も 8 月末現在で 49 件 217 万円の寄付金が寄せられております。

本市を応援してくださる方々からのご厚意に心から感謝いたしているところであります。

今年度は、企業の協力により新たな特産品を追加提供するとともに、寄付金の使い道に市民憲章推進分野を追加いたしました。

今後もふるさとを応援していただく皆様のご希望に沿うべく努力してまいりたいと考えております。

以上申し述べまして、提出案件の説明に入ります。

今議会に提出いたしました案件は、予算案 4 件、条例案 3 件、その他 3 件、報告 2 件、認定 8 件の合計 20 件であります。

議案第 44 号 平成 25 年度羽咋市一般会計補正予算第 3 号についてご説明いたします。

今回の補正のうち、歳出の^{おも}主な内容は、去る 6 月 18 日から 19 日の梅雨前線豪雨による林道、農地、農業施設、河川の災害復旧事業の追加をはじめ、企業立地、障害児施設給付、住まいづくり奨励金、あんしん住まいリフォーム助成、地域循環バス運行事業などの増額であります。

歳入では、事業実施に伴う^{こくけん}国県支出金などの増額をはじめ、一般財源として地方交付税、臨時財政対策債、前年度繰越金を増額いたしました。その結果、余剰となった財源は、財政調整基金、まちづくり基金、退職手当基金からの繰入金を減額し、収支の均衡を図ったところであります。

これにより、歳入歳出それぞれ 8,462 万 7 千円を追加し、予算総額を 94 億 5,246 万 4 千円に定めようとするものであります。

議案第45号 平成25年度羽咋市国民健康保険特別会計補正予算第1号につきましては、今年度の前期高齢者納付金およびその事務費の確定による補正であり、歳入歳出それぞれ12万6千円を追加し、予算総額を30億7,612万6千円に定めようとするものであります。

議案第46号 平成25年度羽咋市介護保険特別会計補正予算第1号につきましては、介護給付費および介護保険事業費の確定に伴う国県支出金等返納金による補正であり、歳入歳出それぞれ3,068万1千円を追加し、予算総額を24億6,468万1千円に定めようとするものであります。

議案第47号 平成25年度羽咋市千里浜財産区特別会計補正予算第1号につきましては、千里浜運動公園南側の芝生整備工事にかかる補正であり、歳入歳出それぞれ140万円を追加し、予算総額を1,340万円に定めようとするものであります。

議案第48号 羽咋市税条例の一部を改正する条例につきましては、地方税法の一部改正に伴う改正であり、個人住民税における公的年金等からの特別徴収に関する取扱いや、株式と公社債に係る譲渡所得の課税の見直しなどを行うものであります。

議案第49号 羽咋市後期高齢者医療に関する条例等の一部改正につきましては、地方税法の一部改正に伴う改正であり、現在の低金利の状況を踏まえ、後期高齢者医療制度や介護保険制度の保険料および下水道事業の受益者負担金にかかる延滞金の利率の引き下げを行うものであります。

議案第50号 羽咋市国民健康保険税条例の一部改正につきましては、地方税法の一部改正に伴う改正であり、株式と公社債に係る譲渡所得等に対する課税の見直しを行うものであります。

議案第51号 「工事請負契約の締結について」の一部変更につきましては、平成24年第5回羽咋市議会臨時会で議決をいただきました「羽咋中学校校舎棟改築工事(建築)」で、建物の安全性をより高めるための追加工事や機能向上にかかる変更などにより、既決予算額の範囲内で、増額の変更契約の議決をお願いするものであります。

議案第52号 財産の取得につきましては、地域循環バスとしてマイクロバス2台を「株式会社 羽咋オートプロテクター」から、2,017万9,632円で取得しようとするものであり、羽咋市市有財産条例の規定に基づき、議会の議決をお願いするものであります。

議案第53号 市道路線の廃止および認定につきましては、釜屋町地内の1路線を廃止し、1路線を認定するため、道路法の規定に基づき、議会の議決をお願いするものであります。

報告第13号 平成25年度羽咋市一般会計補正予算第2号につきましては、法人市民税申告に基づく多額の市税還付金が発生したことから、早急に還付事務を進めるため、予算措置の専決処分を行ったものであります。

報告第14号 健全化判断比率および資金不足比率の報告につきましては、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、平成24年度決算における比率を報告するものであります。

健全化判断比率には、「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」および「将来負担比率」があり、このうち実質赤字比率と連結実質赤字比率は、対象となる会計の収支がすべて黒字であったため、該当しないこととなります。

実質公債費比率は、税収の減額や下水道事業会計への繰出し増があったものの、前年度までに実施した繰上げ償還などにより、対前年度比で0.3ポイント改善し、17.3パーセントになりました。

将来負担比率は、市債残高の減少や土地開発公社債務残高の減少などにより、前年度と比較し、19.0ポイント減となり、91.1パーセントに改善しました。

水道事業や下水道事業の公営企業会計における資金不足比率では、すべての会計において資金不足が発生しておらず、該当いたしませんでした。

今後は、羽咋中学校整備事業などの大型事業の起債償還に伴う影響を見据えながら、財政の健全化に向け取り組んでまいりたいと考えています。

認定第1号から認定第8号までにつきましては、平成24年度の一般会計および各特別会計の歳入歳出決算、ならびに公営企業会計決算について、地方自治法および地方公営企業法の規定に基づき、議会の認定をお願いするものであります。

一般会計の決算概要につきましては、これまで、実質単年度収支の黒字化を最重要課題として位置付けてまいりましたが、財政の健全化に加えて、安全安心なまちづくり、交流・定住人口の拡大などを柱とした「はくい再生」への取り組みを強化し、市民が活力ある羽咋を実感できるまちづくりを目指してまいりました。

厳しい財政状況の中、国からの交付金や交付税措置のある有利な地方債を活用しながら、羽咋中学校整備事業をはじめ、公共施設の耐震化事業や防災行政無線の整備など、安全安心なまちづくり事業を推進してまいりました。

また、住宅用太陽光発電システム設置費助成事業、可燃ごみ全量有料化に伴う地域環境保全事業など、環境対策の充実や、

乳幼児医療費助成制度および予防接種事業の拡充など、子育て環境の向上にも積極的に取り組んでまいりました。

さらには、今年の春に無料化となった「のと里山海道」や平成27年春に迫った北陸新幹線金沢開業を大きな好機と捉え、企業誘致や住まいづくり奨励金の拡充など、交流・定住人口の拡大にも力を注いでまいりました。

一方、後年度負担の軽減を図り財政の健全化を進めるため、市債の繰上償還や、市土地開発公社の債務解消に向けた助成も行っております。

歳入では、法人市民税や固定資産税の減収により、市税が前年度と比較し1億0,300万円の減額となりましたが、積雪度の級地見直しなどにより、普通地方交付税と臨時財政対策債をあわせた実質的な交付税は、3,400万円の増額となりました。

また、減債基金、退職手当基金など各種基金から1億8,900万円の繰入れを行っております。

この結果、歳入総額 101億8,904万7千円、歳出総額 100億8,379万円、差し引き 1億0,525万7千円の黒字となりました。

また、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は、8,484万6千円の黒字、単年度収支から財政調整基金への積立金や市債の繰上償還を考慮した実質単年度収支につきましては、1億4,085万4千円の黒字となりました。

実質単年度収支の黒字は、平成22年度決算から3か年連続となり、財政再建が着実に進んでいるものと認識しております。今後も、中期財政計画による財政予測を基に、財政の健全化に努めてまいりたいと考えております。

特別会計の決算につきましては、すべての会計で実質収支が黒字となっております。

なお、一般会計および各特別会計は「主要施策の概要」説明書などで、また、水道事業会計および下水道事業会計は事業報告書などにより、詳しい説明をさせていただきます。

以上をもちまして、提出いたしました全案件の説明を終わります。

詳細につきましては、質疑、質問あるいは各常任委員会において説明いたしたいと存じます。

何とぞ、よろしくご審議の上、適切なるご決議を賜りますようお願い申し上げます。